

小石川中等教育学校 ラグビー部

後援会会報

2014
Spring

Vol.16



平成25年3月1日、「OB訪問」フジテレビ本社。
写真左から、豊田皓さん(S40年卒)、米島さん、川見君。



平成25年3月9日、「エディー・ジョーンズ氏講演会」

フジテレビ社長より頑張れラグビー部後輩

ラグビー日本代表
ヘッドコーチ

エディー・ジョーンズ氏

講演
会★

「JAPAN WAY」



平成25年7月6日。現役・OB交流戦

会長挨拶



小石川ラグビー部
後援会 会長

川口 明

(昭和42年卒)

いつでも会える仲間がいる。
素晴らしいさをPRして下さい。

皆様、お元氣でお過ごしでしょうか。
平成24年の夏、恒例の都立大泉高
校との定期戦が行われました。東
大ラグビー部監督の内田さん（S38
年卒）、元監督の斉藤さん（S52年卒）
の御尽力で立派な東大駒場の人工
芝グラウンドを使用することが出来

ました。現役の選手達もさぞ氣持
良かった事でしょう。有難う御座い
ました。大泉高校は勿論全てのメン
バーが大泉の生徒ですが、一方の小
石川サイドは都立九段中等教育学校、
学習院の合同チームで、小石川生は
唯 キヤプテンの米島だけでした。

彼女はご存知の通り女性です。つ
いにこの様な状態になってしまいま
した。部員を増やすために現役、先
生に働きかけておりますがなかな
か部員増には結びついておりません。
このままでは本当に小石川ラグビー
部は無くなつてしまいます。これと
言つて有効な手立ては有りません。
しかし、だからと言つて何もしなけ
れば何も変わりません。そこで後援
会の皆様に次の二つについてご協力
を御願ひしたいと思います。

昨年、先程の斉藤さんが「文京ラ
グビースクール」を立ち上げました。
小学生のお子さん、お孫さん、曾
孫さんの居られるお知り合いが居
られましたら、どうかこの「文京ラ
グビースクール」を薦めてください。
もう一つは中学受験をお考えのお知
り合いが居られたら「小石川中等
教育学校」を薦めてください。そし
て合格の折にはラグビー部を推薦
して下さい。

生意氣を言つて申し訳ありませ
んが、人間はとても寂しいものだと思
います。心を通わせたいと思つて
も中々出来ません。幸い、我々小石
川高校ラグビーのOBはいつでも会
える仲間が沢山居ります。

人間関係がとても希薄になった現
代においてこれとても素晴らしい
事だと思ひます。どうか、この良
さを皆様の周りの方々にPRして下さい。



小石川中等教育学校ラグビー部
後援会会報

Vol.16

2014 Spring

CONTENTS

会長挨拶	3
News File	4
小石川便り	6

フジテレビ社長より 頑張れラグビー部後輩	8
-------------------------------	---

(OBコラム)	
部員数の推移と選抜都立高校大会 / 鈴木隆	12
ラグビー仲間は素晴らしい / 岸野匡伸	13
オールメン・オン・サイド / 小山知泰	14
OBチームこの一年 / 南高之	16

ラグビー日本代表ヘッドコーチ エディー・ジョーンズ氏講演会 JAPAN WAY	17
---	----

現役名鑑 会費・寄付金のお願ひ	23
--------------------------	----



平成24年4月1日、卒業試合



平成25年4月21日、春季大会・対成蹊戦

平成24年度

小石川ラグビー部
後援会総会報告

平成24年6月16日、12時から文京グリーンコートカフェテリアで「平成24年度小石川ラグビー部後援会総会」が開催されました。

【挨拶】

- ①会長挨拶／川口明（S42年卒）
②ラグビー部顧問挨拶／山田憲永先生

◇各大会結果等・活動報告／平成23年度計画・チーム編成についての

現状

③現役部員挨拶

議長：川口明／会長

進行役：南高之／事務局長

①平成23年度活動報告

（1）山中達夫／副会長：報告

（2）南高之／事務局長：報告

（3）俵一雄／財務会計部長：報告

・平成23年度決算報告

・会計監査報告：田野正人／会計監査役（S39年卒）

①役員の改選

役員の任期満了にともなう新役員選出の経緯／新役員への承認（任期

チームも、川見君も成長して良い経験となったと思います。学習院戦では川見君がトライを決めました。

- （平成25年1～2月）
「東京都中学校新人戦」
対久我山B 5-35
対多摩合同 35-5

- （平成25年4～5月）
「東京都中学校春季大会」
・1部予選リーグ・Fブロック
対明大中野八王子 12-29
対成蹊 0-15
対東京朝鮮 5-43
Fブロック4位で、決勝トーナメントには進出ならず。

（平成25年9～10月）

- 「東京都中学校秋季大会」
・1部予選リーグ・Fブロック
対明大中野八王子 5-51
対早実 0-42
対麻布・開成 30-7
Fブロック3位で、決勝トーナメントには進出。
・決勝トーナメント
対獨協 27-24
対慶応 5-50
決勝トーナメント2回戦で敗退。
対獨協戦で、ゴール前の混戦から川見君が抜けだしトライを決めた。
平成26年新人戦は、中等1、2年生が在籍していないため参加していません。

平成24年度
卒業試合

小石川が中等学校になってからの初部員だった早川琢磨君、大園誠也君の卒業試合が開催されました。早川君は日本大学芸術学部、大園君は山梨大学に進学。

（平成24年4月1日）

藤田先生

古希を祝う会

昭和47年から50年にかけて、小石川ラグビー部顧問を務めていただいた藤田幸康先生の古希を祝う会が、小石川・光丘・富士高校ラグビー部

2年）

- 会長／川口明、副会長／村田伸（S48年卒）、現役支援担当／土田正隆（S47年卒）、経理／木村智幸（S59年卒）、会計監査役／田野正人（S39年卒）
進行役：村田伸
④平成24年度活動計画
（1）今後の活動・広報活動：村田伸
・顧問の先生への協力・支援
（2）現役支援活動：土田正隆
（3）平成24年度予算案：木村智幸
・予算案提出・説明
（4）規約改正
役員改正に基づく役職名の変更など
全員で承認後、懇親会へ。最後に、出席者全員で小石川ラグビーソングを合唱して散会した。
総会参加者、36名。



平成24年6月13日、総会・懇親会

東京都中学校
各大会報告

中学の試合は、12人制 FW5人BK7人、20分ハーフで行われています。小石川は、区立九段中等、駒場東邦、都立大泉附属中と合同チームを組んで参戦。川見君が、HBとして出場。

大会は1部と2部に分かれて、4チームによるリーグ戦が行われ、各リーグの3位までのチームが決勝トーナメントに進んでいます。1部は、主に部員数が多い強豪校Aチームと強豪校。2部は強豪校Bチー

収入項目	H22年度決算	H23年度決算	H24年度予算案
1 年会費	459,000	386,000	600,000
2 寄付	119,000	73,000	150,000
3 その他	-	-	-
4 雑収入	1,502	-	-
5 受取利息他	493	328	-
6 収入合計 Σ 1～5	579,995	459,328	750,000
7 前年度繰越金	1,310,811	1,272,173	977,426
8 総計 6+7	1,890,806	1,731,501	1,727,426

支出項目	H22年度決算	H24年度決算案	H25年度予算案
1) 学生強化費	361,429	94,280	200,000
2) 夏季合宿補助費	-	50,000	100,000
3) 大泉定期戦費用	12,500	39,000	30,000
4) 保険料	25,000	10,000	10,000
5) 会報印刷費	158,550	165,700	170,000
6) HP作成費	20,313	20,075	20,000
7) 通信費	97,350	184,130	100,000
8) 10校ラグビー費用	-	-	-
9) 会議費	-	-	-
10) 総務企画経費	26,338	73,630	10,000
11) 雑費	3,280	7,875	10,000
12) 振替手数料	9,170	9,385	-
9	713,930	654,075	650,000
70周年積立金	100,000	100,000	100,000
10 支出合計	813,930	754,075	750,000

収支差額 6-10	-233,935	-294,747	-
次期繰越金	1,272,173	977,426	977,426
70周年積立金累計	500,000	600,000	700,000

平成25年度

小石川ラグビー部
後援会総会報告

平成25年7月6日、文京グリーンコートカフェテリアで「平成25年度小石川ラグビー部後援会総会」が開催されました。午前中には、現役とOBの交流戦が校庭で行われた。

【挨拶】

- ①会長挨拶／川口明（S42年卒）
②ラグビー部顧問挨拶／山田憲永先生

◇各大会結果等・活動報告／平成25年度計画・チーム編成

③現役部員挨拶

◇米島莉央（よねしま・りお）

◇川見響輝（かわみ・ひびき）

中等3年

【議事】

議長：川口明／会長
進行役：土田正隆

①平成24年度活動報告&平成25年度活動計画

（1）村田伸（S48年卒）

副会長：報告

（2）土田正隆（S49年卒）

現役支援担当：報告

（3）木村智幸（S59年卒）

会計担当：報告
・平成24年度決算報告

米島さん

早稲田大学合格

小石川初めての女子部員として、活動した米島さんが、3月に卒業。4月からは、早稲田大学教育学部へ進学することが決まりました。

（平成26年3月）

大泉高校・人工芝
グラウンド完成

昨年12月28日、大泉高校で新グラウンド（人工芝）完成イベントが開催され、高校、中学、OBの定期戦が開催されました。最新の人工芝グラウンドは、ふかふかの柔らかなさでうらやましくかぎり。なお、小石川には川見君と同学年の中等3年・岩崎君が新入部員として見学した。男子2名の部員数となる予定だ。

（平成25年12月28日）

見君も参加。

文京ラグビースクールは、'13年4月に開校。登録人数は約70名（幼児15名、小学生50名、中学生5名程度）。練習は、筑波大附属高校グラウンド・体育館を中心に、小石川運動場でも練習している。公式HPは <http://bunkyo-rugby.org/index.html>

（平成25年7月15日）

・会計監査報告：田野正人／会計監査役（S39年卒）
 （4）平成25年度予算案：木村智幸
 ・予算案提出・説明
 全員で承認後、懇親会へ。最後に、出席者全員で小石川ラグビーソングを合唱して散会した。
 総会参加者 32名。



平成25年7月16日、総会・懇親会後の記念撮影

	収入項目	H24年度決算	H25年度予算案
1	年会費	173,000	500,000
2	寄付	10,000	100,000
3	その他	166,850	-
4	雑収入	6,650	-
5	受取利息他	173	200
6	収入合計 Σ 1~5	356,673	600,200
7	前年度繰越金	981,173	982,519
8	総計 6+7	1,337,846	1,582,719

	支出項目	H24年度決算	H25年度予算案
1)	学生強化費	110,750	50,000
2)	夏季合宿補助費	50,000	50,000
3)	大泉定期戦費用	-	20,000
4)	保険料	-	10,000
5)	会報印刷費	-	170,000
6)	HP作成費	20,313	20,500
7)	通信費	-	180,000
8)	10校ラグビーフェス費用	-	-
9)	会議費	22,500	25,000
10)	総務企画経費	43,760	40,000
11)	雑費	7,444	5,000
12)	振替手数料	560	10,000
9	70周年積立金	255,327	580,500
10	支出合計	100,000	100,000
		355,327	680,500

収支差額 6-10	1,346	-80,300
-----------	-------	---------

次期繰越金	982,519	902,219
-------	---------	---------

70周年積立金累計	600,000	700,000
-----------	---------	---------

現役部員の声

小石川便り



中等3年

川見響輝

初めてのトップリーグ試合観戦

一昨年9月、トップリーグの試合を秩父宮で観ました。サントリー vs キヤノン、東芝 vs パナソニックの二試合でサントリーと東芝が勝ちました。社会人の試合を生で見たのは初めてで、反則があるとパネルにルールが表示されるのが新鮮でした。選手、特にSのパスがきれいに伸びていて、あんなふうには投げられない。になりたいと思いました。

他にも、FWの走るスピードが落ちなかったり、各々のタックルがしっかりしているなど学べることはたくさんありました。



中等6年

米島莉央

小石川ラグビー部で学んだこと

今までの部活を支えてくれていた二人の先輩がいなくなり、ラグビー部は大きく変わりました。女子がラグビー部のキャプテンにな

くさんありました。

ルールも表示され観ていて楽しいスポーツなので、小石川の生徒にも試合を観てもらい、少しでも部員が増えるといいです。また、サントリーのS・日和佐選手のようなきれいで速い球出しをできるようになり、大会で決勝まで行きたいです。

顧問一同より

大会ごとに上達している

遠藤大輔
山田憲永

日頃から部員たちの応援ありがとうございます。

予選リーグが終わり10月7日から決勝トーナメントが始まります。予選リーグは2戦全勝で1位通過となりました。決勝トーナメントの組合せは恵まれているので、決勝進出を目標として練習に励んでいます。今回のチャンスを逃さないよう、子供たちには全力で試合に臨んでほしいと思います。

予選リーグの戦いは安定していましたが、ディフェンスの穴をつかれて失点する場面がありました。実力が拮抗した相手との試合では、相手が勢いに乗ると止めることは難しくなります。攻撃に関しては決定力のある選手がいるので、ハンドリングミスがなければ安心して見ていられます。やはり勝ち上がるためにも、ディフェンスの整備とミスのないプレーが必要です。これ

このことから継続することの大切さを学び、諦めずに努力すれば結果が出るということを知ることが

できたと思います。

これからも部員たちのサポートをよろしくお願いします。



2012年4月1日、早川・大園君の卒業試合



2012年10月、中学秋季大会、対慶応B



2012年10月、中学秋季大会、対久我山B



2013年7月6日、現役・OB交流戦

小石川便り

う場になるのか、それは分かりません。OBさん方は、もはや片手で足りる人数の私達のために、本当にいろいろなことをしてくださっていると思います。この後援会会報についてもそうです。私たち現役部員は、自分たちのためにももちろん、来年の新入生の部活動誘いに全力をそがなくてはなりません。

けれど、私は同時にこの状況に絶望してはいません。少人数ゆえに得られたものもまた多くあるからです。合同チームでできた、たくさんの方の学校にいるラグビー友達。高校女子で知り合った、全国にいるラグビータち。たくさんの方の応援してくださる方によって、女子日本代表とともに練習をしたり、社会人になってもラグビーを続けているたくさんの方々と知り合いになったこと。私が小石川のラグビー部から、小石川という枠組みを超えて得られたこの経験は、とても貴重なものであると思っています。もう時間はそう長く残ってはいないと感じているからこそ、私は今まで以上に真剣に、今を楽しみ、全力でラグビーをプレーしていきたいと思っています。そして川見くんには、もともと上手い選手になり、いずれはひとりでもたくさんの方の後輩たちを指導していただけるような先輩になって欲しいと思っています。

1947年（昭和22年）に創部。それから65年を経た小石川ラグビー部は、現在、在籍部員数の激減で、部そのものの存続の危機に陥っています。2013年3月現在、たった2人（女子1名、男子1名）の現役部員が懸命に部活動を行っています。その頑張っている現役部員を励ますと、フジテレビジョン現社長で小石川高校ラグビー部OBである豊田皓さんが、現役生との歓談の場を設けて下さいました。

南 今、小石川ラグビー部は米島さんと川見君の2人で頑張っています。ラグビーは危険なスポーツと思われるせい、部員が一向に増えていない、かえって減ってきている状況です。また、小石川は中高一貫になり、学年の生徒数も減り、部活動などするより勉強がメインになってきているのかなとも思いますが？

ラグビーを始めたきっかけとラグビーの楽しさ

南 それでは、米島さんと川見君は、そもそもどういうきっかけでラグビーを始めようと思ったのですか？

米島 私は中学3年の夏までサッカをしていたのですが、あまり上手くありませんでした。ある時、顧問の先生から女子ラグビーユース（日本代表下部組織）のセレクションを受けてみないかと言われたんです。ラグビーのことは全く知らなかったのですが、父親にその話をしたら、「ラグビーいいじゃん、楽しいよ」と言ってくれました。それでユースのセレクションを受けて、ユースに入る事ができたんです。

豊田 それじゃ、普段は学校でなくて、別のところで練習しているの？

米島 ユースの練習は、月に2回しかありません。初めは、クラブチームに入っていたのですが、学校でも練習しようと思い、小石川ラグビー部に入りました。なので、今は学校で練習をしています。

川見 僕は小学校まで空手をやっていました。だけど、小石川には空手部が無くて、どの部活に入ろうかなと悩んでいたときに、ラグビー部のことを同窓会会報を読んで知ったんです。小学生時代ラグビースクールに入っていた友達もいてラグビーがいੰんじやないかと思ひ、親もラグビーに理解があり、いろいろな人から話を聞いて興味を持ったので、入部しようと思ひました。

南 入った当時はすごく小さかったよね。今では僕より大きくなつて…

川見 はい（笑）。

南 それでは、豊田さんがラグビー部に入ったきっかけは？

豊田 僕は、中学校でバスケットをしていて、高校でもバスケットをやろうとバスケット部に行ったら、何か違うなと思つたんです。次に山岳部に行つて、合宿にも参加しましたが、これも何か違うなと思ひました。そしてラグビー部に行つたら、面白い人たちがいっぱい居た（笑）。競技としてもラグビーは面白そうだなと感

じました。ラグビーは体すべてを使つてやれるので、運動好きな自分に向いているんじゃないかなと思つたわけです。そこからラグビーにハマっていきました。

南 当時は部員がたくさんいて、怖そうなの、だけど優しい先輩が居ましたね。入つてくると、ウエルカムだし、ちよつと走ると、ナイスダッシュ。転ぶと、ナイスファイト（笑）。さて、現役の2人は、部員数が年々減つていく中、それでも続けているということはラグビーが好きだからだと思ひわけですが、ラグビーの楽しさはどういふ所にあると思ひ？

米島 サッカーは、小さい頃から細かいテクニックが必要だけど、ラグビーはファイトさえあればできます（笑）。タックルは気持ちいいし、タックルができたら褒められるし、サッカーほど経験だけがものをいう競技ではないという所が楽しいですね。

川見 練習は大変だけど、試合が凄く楽しいです。スクラムハーフで敵のマークを潰したとき、パスがちゃんと通つたとき、サインが決まつてトライできたときは嬉しいんです。その楽しさがあるから、ラグビーをやつてゐるんだなと思ひます。

豊田 うん、よく分かるな。プレーが決まると楽しいよね。僕はセントリースリークォーターをやつていて、トライを決めると気持ちよかつた。

他のスポーツだと、得点を決めた選手の所に集まつて抱き合つて騒ぐけれど、ラグビーは、one for all, all for one、と言ふぐらひで、皆がボールを回してつないでくれるからトライを決められるわけです。最後に決めた選手が人知れず誇りに想うというところがカッコイイと思ひたね。ラグビーは本当に楽しいスポーツだよな。僕らの頃は紳士がやる激しい（野蛮な）スポーツだと言われていて、なんかカッコイイなと思ひながらやつていたよ。

ラグビー部の現状

南 今、小石川ラグビー部は、他校との合同チームで試合をしているんだよな？

豊田 うん、それは聞いているよ。

川見 はい。土曜日に一度練習があります。

南 スクラムハーフは重要なポジションだけど、週1回の練習で他校のスタンドオフとの意思の疎通は上手くないの？

川見 去年はスタンドオフが上級生だったので、注意されながらも努力して認めてもらえるプレーができました。だけど今は、同学年の者がスタンドオフになくて、また、チームの雰囲気が悪いなと感じている部分があり、直していかななくてはいいと思ひています。

南 スクラムハーフはチームを引っ張る存在だから、遠慮せずにやらなとね。

村田 川見君は、合同チームで、既ひこの秋に6試合か7試合出ているんですよ。最後の試合が、国学院高校中等部のBチームと東京都3位決定戦だったんですよ。

宮崎 かなりいいところまで行つたんだね。

南 そんな今、ラグビー部は2人きりという状況だけど、これから部員を増やすにはどうしたらよいか、また、現在どういふ心境かな？

米島 人数は多い方が楽しいと思ひますが、女子がラグビーをしようと思ひ掛けても…なので、川見君に期待しています（笑）。

川見 同級生とかを誘つてはゐるんですけど、部活をしない人は部活に入らないと決めていたり、部活をしている人は、顧問の先生もいることとて、途中から抜けることはできない感じですよ。

米島 中等3年から4年に変わるときに、部活や生徒会を辞めちゃう人は多いですね。

宮崎 僕らの頃には、ラグビーをやりながら生徒会長をやつてた奴がいたよ（笑）。それで東大に入つちやつたしね。

米島 それは凄いですね。

豊田 ラグビーの実力はあまりたい



フジテレビ社長より 頑張れ!! ラグビー部後輩

OB訪問



したこと無かったけど、とにかくラグビーに勉強に共にまじめだったよ(笑)。

ラグビーへの興味と広がり

南 ところで、今の若い子たちってラグビーに対して興味を持っているのかな？

川見 ラグビーのことを知らないっていう人が多いです。

豊田 今はテレビでもサッカーと野球ばかりだからね。この間、元首相で日本ラグビー協会会長の森喜朗さんにお会いしたときに、「豊田君、なぜもっとラグビーを取り上げてくれないのか。フジテレビは、サッカーとバレーボールしかやってくれないじゃないか」と言われたよ。『そのうち、やりますから…』と答えただけけれど、7人制ラグビーがオ

リンピック種目になって、2015年にW杯もあるから、多くの人にラグビーの面白さを知ってほしい。

ラグビーをしていた人間からすると、こんなに楽しいスポーツに触れる機会が少ないのは、とても残念に思うわけです。ラグビーの良さを上手く伝えられないテレビ局にも責任があるけどね。あと、保護者の方がラグビーは危ないからやらせたくないという意見もあるけど、僕はラグビーをやっていて良かったなあ。ラグビー部はメンバー同士の距離感が近くて、今でもつながりのある仲間がたくさんできましたよ。

南 どうにかして部員が増えてほしいと思っているんですけどね。何かいい方法はないですか？ 小石川ラグビー部に入ると、フジテレビの社長に会えますよと言って誘うのはどうでしょう(笑)。

豊田 女子部員ならいつでもOK。というのは冗談(笑)。ここで勝手なこと言うけれど、ラグビーをやっていたと言うと就職が有利になる、本当だよ。私がフジテレビを受けたときに、人事担当が「ラグビーをやっていたから体力あるでしょう？」と聞かれ、「当たり前ですよ！」と答えました。それでフジテレビが採用してくれたんじゃないかな。いや、試験もしつかりできたんですけどね(笑)。それに、会社の経営者や財

界人にラグビー経験者は多いのは事実ですよ。

再び、ラグビー部と部活動の現状

宮崎 米島さんは高校卒業まであと

一年だけど、その後もラグビーをやりたい？

米島 続けていきたいです。

豊田 大学で女子のラグビー部を創ったり、クラブチームがもっと増えればいいんだけどね。社会人になってもラグビーをやっていて良かったと思う人が多いから、今でもOB会にたくさん人が集まるんだよね。

宮崎 OBが学校に来て現役にラグビーを教えるのもいいけど、おじさんたちが集まってもなあ(笑)。

土田 OBがラグビー練習を小石川のグラウンドですることが第一なんです。要するに、生徒たちがラグビーを見たことがないので、見せてあげることができる。それには、やっぱり大学生OBに来てほしいですね。

豊田 僕もOBに指導してもらったり、後輩を指導したりしたけど、とても楽しかったなあ。今問題になっている体調なんて、先生からもOBからも全く無かったですよ。

南 生徒の全体数が減っているという問題もあります。一学年で男子が80人しかない。僕らの時代には300人以上居ました。

豊田 中高で1チームは欲しいよね、7人制ラグビーもあるから7人は集まって欲しいな。

南 小石川だけでなく、都立高校ではラグビーをやる生徒が減ってきて、廃部になったりもしています。

豊田 ラグビー部を辞めてしまう理由は、勉強？

南 新しく入ってきてても部員が少ないから、ラグビーの練習ができない。それで面白くななくなってしまうのかな？

米島 たしかに大人数でラグビーをする方が楽しいと思いますが、部員が2人でも目標を持って楽しく練習をすることはできます。

川見 米島さんが卒業したあとは、僕だけになってしまおうので、同級生とかに声を掛けて部員を増やす必要があると思います。また、合同チームでは、まだそこまで発言力が無いので、チームの中で影響力のある選手になっていきたいです。

南 仲間が多いとやっぱり楽しいからね。僕らの時代は、昼休みになると部室に集まってボールを回していたよ。つらいときも皆で励まし合って乗り越えられた。

豊田 小石川のグラウンドは良くなつたのかな？

南 僕らの頃よりは良くなりましたよ、当時は砂利だらけでしたからね。セービングの練習をする、

ここ(腰)がビフテキになっちゃう。宮崎 ビフテキって分かる？

米島 いや、分からないです(笑)。

南 グラウンドの砂利で腰が擦れて血が滴ってカサブタができ、見た目ビフステーキみたいになっちゃう。それでも、雨が降ると滑りやすくなるので、「今日はセービング日和だね。」って(笑)。

米島 それは今でも言いますね。

豊田 ところで、他のスポーツ系の部活は何人ぐらいいるの？

米島 サッカー部は多いですね。一学年15人ぐらいいます。

川見 野球部も人数多いです。小さい頃からリトルリーグで野球をしてきた子たちが、そのまま中学でも野球部に入っています。

土田 今の子どもたちは、レギュラーを獲得するのが目的ではなく、単に部員数が多い方がいいって言うよね。『ラグビー部はすぐにレギュラーになれる』って言っても、それは殺し文句にならない？

米島 今は、友達が入っているから、自分も入ろうって思うのかもしれない。

宮崎 何かのきっかけでラグビー部員が増えたら、状況も変わると思っただけだな。

米島 そういう部活は結構あります。ラグビー部のように人数が少なかつた柔道部やバレー部も一度無くなり

OB訪問

南 度胸が入りますよね。宮崎 いや、あれは最高だよ(笑)。

かけたんですけど、友達グループが集団で入部して、その下の学年の子たちも入って部員数があつという間に増えていきました。宮崎 じゃあ、卒業前に米島さんに何とかしてもらって、新入部員をこそり(笑)。

豊田 ある程度の人数まで増えればいいんだよな、本当！

部の仲間と思い出

豊田 あね、この宮崎さんってのは、ワル(悪)だね。

宮崎 何だよ、誉めるかと思ったのに(笑)。

豊田 凄く足が速かったの。中学生の頃から100m11秒台で走ってた。米島・川見 はやつ！

豊田 宮崎さんがフルバックをやっていたときね、走ってきた相手にわざと抜かせておいて、うわーって追いかけていつね、今では反則だけど、襟を掴んで引きずり倒すの(笑)。これは相手にとって本当にショックだよ。後ろから来て追いつかれてさ。宮崎 (豊田さんが) 後ろから押すんだもん。

土田 前(正面)からのタックルは嫌だったから、わざわざ後ろからねでも背面タックルするのは怖かったですよ。

南 度胸が入りますよね。宮崎 いや、あれは最高だよ(笑)。

土田 川口さん(019年生・慶應大、新日鉄八幡で活躍)も足が早かつたんですか？

豊田 川口は、そんなに早くない。だけど、チェンジアップとか上手かった。

土田 豊田さんにはパスをたくさんもらってたって、いまだに言っているよ(笑)。

豊田 彼はいまだに俺に感謝してくれてるわけ？ 相手を抜いてね、ゴールラインが見えるんだけど、彼にパスしてたもん。確か、彼は初めて出た試合で3トライしたよ。

宮崎 パスしたのは、川口だからだろ？ 俺たち同期には渡さないよな(笑)。

豊田 うん、しない笑。川口は入ったときにいい選手になりそうだなと思って、辞められちゃ困ると思うたから、あいつにトライの味を覚えてもらおうと思ってパスしてたんだよ。

宮崎 いいセンターだなあ(笑)。

土田 山中さん(017年生)はどうだったんですか？

豊田 山中もいい選手だったよ。宮崎 山中はねえ、フッカーやバックローとかいろんなポジションやつたよ。南 ハーフもやつてましたよね。

宮崎 ハーフは長年の経験がものを言うから、最初からハーフやっていたらもつといい選手になっていたかもしれないね。豊田 彼が大学行ったらさ、小さい

から通用しないだろうと思ってね、レスリング部入られて言ったんだよ。もしかしたらオリンピック行けるんじゃないかって皆で勧めたんだけど、『嫌だ！』って(笑)。

土田 いま僕はOVER60チームでセンターをやっていて、山中さんがスタンドなんですけど、不思議と簡単に抜けるんですよ。ヒョロヒョロヒョロって。

宮崎 だってあいつは視界に入らないだろ(笑)。

豊田 川口もさ、チェンジアップ上手いから、相手は足が遅いのか速いのか迷うんだよね。だからフワフワと抜けるわけ。

土田 今でも人をかわすのが上手いですよ。あと、川口さんみたいに一流選手になる人は何が違うって、気持ちですよ。闘争心が違う。

宮崎 今でもそうだもんね。

豊田 俺なんて怒鳴られてるもん。

『OB会に何で出てこないんですか！ 仕事か忙しいって言っても、時間あるでしょ！』って。あいつは2年下なのに(笑)。

南 いろいろな先輩がいるでしょう？

米島 はい(笑)。

宮崎 川見君も米島さんからいろいろ学んでいかなとね。川見君、米島先輩はどう？

川見 いやあ、だいぶ抜かしてきましたよ。



「OB訪問」は紫友同窓会会報第41号(2013年7月22日発行)に掲載された「同窓生訪問」と同じ内容です。

米島 むかつく！(笑)。

宮崎 川見君が抜かしているのは背だけだろ？(笑)。

米島 でも最近、自信のあつた持久走で川見に抜かれてショックでした。一緒に練習する時は手を抜いて私よりも遅いのに、体育の記録を見たら、私よりもいいタイムだった。

宮崎 初めて川見君を見たときは、本当に小さくて(身長147cm)、ラグビーできるのか？って。それがこんなに大きくなるとは思わなかった。

南 いつか僕が教えたように、ちゃんとセービングできるようにになったのかな？

川見 もちろん、できますよ(笑)。

最後に

豊田 今後は、小石川ラグビー部に部員が再び増えて、盛り上がっていくてほしいよね。2人もぜひ頑張ってください。

南 OB全員同じ気持ちです。また、

小石川ラグビー部がなくなならないよう、何とか盛り上げていきたい。そのためには何でも力になるから、遠慮せずに何でも言ってくださいね。米島・川見 はい。ありがとうございます。(了)

日時：2013年(平成25年)3月1日(金)17時

場所：フジテレビジョン本社

(応接室・レストラン)

○出席者

フジテレビジョン社長(現在は副会長)・豊田皓(昭和40年卒)

現役女子部員・米島莉央 中等6年

現役男子部員・川見響輝 中等3年

宮崎黄石(昭和40年卒)

村田伸一(昭和48年卒)

土田正隆(昭和49年卒)

オブザーバー・岩瀬恵子

(昭和48年卒・紫友同窓会副会長)

進行役・南高之

(昭和45年卒・紫友同窓会理事)

部員数の推移と選抜都立高校大会

小石川の参加を待つ。



鈴木隆 (昭和35年卒)

高校ラグビー部と部員数の減少

ラグビーマガジンの2011年6月号から2012年4月号に、正月ラグビーの記事で満載となった3月号を除いて「フイティーン！高校合同チームの四季」のタイトルで、成見記者の取材レポートが10回に亘り連載されている。1回目と10回目に1990年（平成2年）から2010年（平成22年）までの21年間の花園大会予選出場校数と合同チーム数の推移が分かる統計が掲載されているが、5年毎の主な数値は下段表の通りです。

人気ドラマ「スクールウォーズ」余韻もあり、人気のあった高校ラグビーは1990年代初めをピークに、Jリーグ発足後サッカー人気に押されチーム数も部員数も急減した。

2000年には地区予選への合同チームの参加を認めた結果、減少のスピードには多少は歯止めがかかったと言えよう。しかし、今年度から高校野球連盟は地方予選で優勝した合同チームの甲子園出場を認めたが、高体連に所属するラグビーは学校の統廃合が決まっている合同チーム以外の花園出場は認めていない。

合同チームが認められた2000年には1チーム平均2.5校で構成されていたが、10年後には6校で何と1チームを構成している。合同チームが普段一緒に練習するために交通の便の良い東京や大阪など都市部では結成し易いが、地方では合同チームの結成も容易でない。しかし、花園大会決勝戦の前座試合として合同チーム参加校の選抜メンバーによる東西対抗戦が2008年度から始まり、彼等

にも花園への夢が開かれている。

成見記者は徒歩5分と近隣の関東第一高校と江戸川高校の合同練習から取材を開始しているが、花園予選に合同チームを組めるかは定かでない。高体連ラグビー専門部会では1チーム25人位とし、フットワード一列目を含めポジションのバランスも考慮して、極力近隣校同士が組めるようなバズルを解かなければならない。しかし、普段から合同練習をしていればそれなりにポジションの割り当てに片寄りがなくなるので、合同チームに認定される可能性が高まるのも事実である。2010年度の花園都予選では、春季大会の構成と異なり、関東、江戸川に都立東の3校の合同チームで臨むことになった。都立東は前年度までは小石川を平成3年に卒業した

項目	年度	1990	1995	2000	2005	2010
高体連加盟校数		1,566	1,501	1,267	1,241	1,131
予選参加チーム数		1,456	1,286	865	940	824
予選参加率(%)		93.0	85.7	66.8	75.7	78.6
合同チーム数		-	-	13	75	45
合同参加校数		-	-	32	207	270
高体連登録人数		54,855	42,366	28,359	29,773	25,379
平均部員数		35.0	28.2	22.4	24.0	22.4

松崎浩史さんが顧問として単独チームで出場していた。しかし、松崎先生の転任に伴い部員数が減少し合同チームの一員となったが、このチームの主力メンバーとなっていた。この合同チームは奮戦するも初戦で豊多摩に51-48で敗退した。江戸川高校の主将は合同チームの東西対抗戦に選拔されたが、怪我のためメンバー表には載ったが、花園でプレーは出来なかったとのことである。

選抜都立高校大会の開催

一橋大がグラウンドを人工芝化した一年後の2009年の初夏に、芝生のグラウンドを有する国立大学のグラウンドで、初夏から8月末までの間に都立高校大会を開催する構想を練りました。春季大会や花園予選では精々3回戦止まりの都立高校は鐵運に恵まれなければ芝生のグラウンドでの試合が出来ません。そこで、芝生のグラウンドを有する国立大学がグラウンドを提供して、高校ラグーマンに夢と希望を与え、ともに、願わくは国立大学を目指しラグビー部に入学して欲しいという魂胆である。

一年後の2010年から本格的に開催するも、先ずトライアルをやってみようということで、一橋の後輩で青山高校ラグビー部のOB会長のS君が同高顧問のI先生に話した結果、青山国立、小山台と武蔵の4校が参加を希望し、8月の下旬に中1日においてコンソレーション付きトーナメントを行った。東大にも声を掛けたが現役が夏合宿中で大学の許可が取れない

いとのことであった。一橋も現役は夏合宿中でありOBのアテンドで大学の了解を取った。このトライアルでは参加校が2試合ずつ行う予定であったが、国立の生徒がインフルエンザに罹り棄権したため、2試合しか出来なかった。

2010年の第1回大会には、東大（駒場、人工芝）、学芸大（小金井、人工芝）、海洋大（越中島、天然芝）、東工大（大岡山、この年の春に人工芝工事完成）と一橋（国立、人工芝）が無償でグラウンドを提供し、参加校が青山、大泉、国立、小山台、豊多摩、日比谷、三鷹、武蔵の8校であったため、4校ずつに分けて予選トーナメント（コンソレーション付き）を夏休み前に行い、花園都予選前の8月下旬に順位決定戦4試合を行った。残念なことに、日比谷は1年生を未だ試合に出せないとして予選トーナメントを棄権し、順位決定戦も辞退したため、日比谷と対戦する予定だった3校は2試合しかできず、予定通り3試合を消化したのは4校で、部員40名を擁する青山が三鷹に接戦を制し優勝した。なお、予選トーナメントの初戦で部員数の厳しい大泉に、日頃付き合いの深い小石川から助っ人として3人が参戦した。

2011年の第2回大会は、大泉は部員数が少ないために、日比谷は顧問先生の方針により参加せず6校に減ったため、3校ずつの予選リーグを行った上で、順位決定戦を行ったので、参加6校は3試合ずつ芝生のグラウンドで試合をすることが出来た。なお、福島原発事故対応の節電でグラウ

小石川中等教育学校のラグビー部・現役諸君に寄せて
ラグビー仲間はずきらしい



岸野匡伸 (昭和31年卒)

12年の6月、ラグビー部後援会の総会に出席しました。母校も「中高貫教育」の形になって早や七年。その教育の内容などに大きな関心が寄せられています。

そういう中で体育系の部活が生徒の絶対数の減少から部員不足に悩んでいることは承知していました。当日も「今何人いるのかな」「どんな活動をしているのかな」と思いつつの出席でした。

部員は三名。とてもラグビーの出来る状況でない中で、他校と練習したり、合同チーム編成をしてゲームをしたりの状況を現役の諸君から聞きました。

主将の米島莉央さん。女性ですが、ゲームチャンスは少ないようですが、ラグビーに対しての明るい、前向きな気持ちは私を嬉しくさせてくれ

ました。

バスケットをやっていたけど二層の「激しさ」を求めてラグビー部に移ってきた人もいましたね。

一人でも二人でも決して諦めずに部員の勧誘をしてこの素晴らしい伝統を持つ「小石川ラグビー」の火を消さないでほしいと本当に思いました。そこで現役の諸君が友達を誘う時「ラグビー仲間はこちらに素晴らしい」「先輩にはこんな人があるんだ」といった話が役立つかもしれないと思います。

8月30日開幕した日本ラグビー・トップリーグ。今年で11回目のシーズンですが、日本ラグビーを世界レベルにするには社会人チームを「プロ化」するしかないという理念の基に13年程前に動き出したプロジェクトでした。

その中心にいた人が昭和31年卒業の「坪井孝頼さん」です。坪井さんは高校卒業後、東大へ進学。当然、ラグビー部の主将を務めました。社会人としては三菱化学グループの幹部として大活躍した人です。日本ラグビー協会の専務理事として、このプロジェクト推進の為に休日も返上して活動し、漸く次年度の「トップリーグ開幕」に漕ぎつけた平成14年8月、彼は仕事先の松本で急逝したのです。

暑いそして悲しい夏の日でした。坪井さんがトップリーグ開幕に情熱を注いだのは、いつも口にしていた「もっと多くの人にラグビーを見てほしい、楽しんでほしい」という気持ちからです。ラグビーを愛し、強い日本ラグビーの誕生の為に命を落とした仲間を忘れられませんが、もし今健在ならば2019年に日本で開催される「ワールドカップ」でスタンドが満員になるのを夢見て頑張っているだろうと思います。坪井さんと時代を同じくする仲間、今も「くらく会」と言う場で当時を語り、今を語り合う貴重な仲間です。体調を崩し苦労している人のことを心配しながら集まっています。砂利だらけのあの駕籠町のグラウンドで頑張ってきた仲間がいるのです。ラグビーってそういうスポーツではないでしょうか。

伝統ある部の存続の為大変ですが、現役諸君の頑張りを期待しています。

OBコラム

ND使用時間が制約された東大はグラウンドの提供が出来なかった。決勝戦は三鷹が青山を破り、前年度の雪辱を果たした。

2012年度の第3回大会は、部員数が増え前年度の花園予選から単独チームとなった北園が参加し、7校で行われた（人工芝の補修工事計画のあった東大はグラウンド提供が出来なかった。偶々北園は順位決定戦を行う8月後半の都合が悪く、3校で予選リーグするブロックと北園を含む4校で予選トーナメントを行うブロックに分かれ、2試合の北園を除き他の6校は3試合することとなった。小石川と合同チームを組んだりして付き合いの深い北園は、突破力のある選手を複数擁し三鷹には叶わなかったが、武蔵には5トライ奪い完封勝ちした。8月19日に行われた順位決定戦では接戦の末、部員34名の豊多摩が38名の青山を破り優勝した。参加7校の男子部員の合計数は1年生が75名、2年生が58名、3年生が61名で、1年生部員が増加し3年生部員も殆ど引退しておらず、都立高校ラグーマンに芝生のグラウンドを提供する本大会の所期の目的のつが達成されつつある。

結び

少子化や中高貫校への移行などにより生徒数ひいては部員数が減少傾向にあり、都立高校大会でも単独チームを形成できる進学校も減少傾向にあり、大会の存続のために合同チームの参加を認めたいところだが、花園予選など大会ごとに合同チームの構



OBコラム

第91回全国大会の東京地区予選の決勝戦も終わり、代表校が決定すると、その2週間後に、平成23年度の東京地区新人大会が始まった。全国大会の予選では、小石川は6年生が2名、4年生が女子1名で、出場資格者がいないので不参加と思ったら、筑波大付属高と海城高校とともに「合同I」として参加していた。不思議に思っ、試合当日、会場の葛西工業に行き、第二試合の板橋有徳と合同Iの試合を観ていると、タッチャッジの後から女の子がボールを持ってチヨロチヨロとついで廻っている。顧問の山田先生と会ったので「あれか？」と問うと、「そうです」と答えた。

合同を組む両校に実情を説明し、事態を理解してもらい、これから男子部員が入ったら合同チームとして一緒にやりたいと約束してもらった、との説明を受けた。協会も高体連も、男女共学校で選手登録のあるチームに、五輪でも女子の参加を認めているので、選手登録のある学校に不参加を強要することは出来ない。対戦相手の板橋有徳高は、元府立十二高女の北野高を中心に、都立高の統廃合で出来た学校。ラグビーに熱心な先生が、ラグビー部を創ろうとして努力しやうと単独チームとして出場出来るようになったチーム。部員も10名を越すと後一息になる

多く集まると思っていたら、いつもと同じ位の素質の生徒しか集まらなかったというのが本当の意味だった。そこで、東海大仰星の監督は学校の地元ラグビー部OBに協力してもらい、ラグビースクールを創り、小生の時からラグビーを教え、才能のある生徒を集めることに成功したという話だ。

「昨年の後援会報に「名譽は等分さるべきだ」を記した。東京都教育委員会の指導で、小石川中等教育学校のクラブ活動紹介の「ラグビー部体験入部」を実施したが、希望した生徒から入部に値しないと評価されている事を書いたが、経験が全く生かされていない。反省は猿でもできるそうだが、小石川中等教育学校ラグビー部関係者、学校、後援会の態度については昨年の総会でも指摘したが、読まれた方の判断に任せる。小石川中等教育学校ラグビー部後援会は、紫友会ラグビー部OB会ではない。部員が足りなくて、苦勞している現役を、なんとか部を維持し、存続させようと卒業生のラグビー部OBが積極的、現役のラグビー部を後援する組織であり、ラグビー部OBの親睦を目的とする他校のOB会とは目的が異なるのだ。

話が、余談に外れたが、東福岡高の新チームは、全国大会の地区予選で敗れた学校が、昨年の9月か、11

のだが、そこから先の部員確保が難しい。員数を揃える為に、無理を承知で、箸にも棒にもかからない生徒にも声をかけてしまう。基本も満足以出来ない選手を入れてのファイブティーン。

合同チームの方も、並みの相手なら通用しない、無理な強引なプレーが素人相手には通用してしまう。ボールを持ったならば、前に敵が居ない。真つ直ぐ走ればトライでも、敵が居なければ、ゴールラインは近くて遠い距離。どうしたら良いかわから

中等部に12人制単独チームを 高等部に15人制単独チームを

All Men

オールメン・オン・サイド

On Side

小山知泰

(昭和28年卒)

なくなる選手が居る。楽にトライのはずが、ゴール前で掴まる。何度かこんなシーンの後、トライになる。合同チームの選手にとっては、大変な自信になる。合同Iは、予想外の大差で勝ち、勢いに乗って、2回戦の八王子高も破ってしまう。ラグビー経験者には、敵わないと思っ、ラグビー未経験で、ラグビーを教えられる教員でも、勝てるかわかると自信がつくものです。

合同チームがなくならないのは、ラグビーを教えられない教員でも

合同チームならば、三人寄れば文殊の知恵で、お互いに補完し合っ、合同チームならば指導出来るのです。後援会の方々も、ラグビーをやった事がある経験者でも、ラグビーを教えられるとは限らないのです。それを自覚して、顧問の先生の相談に乗り、何を後援会に求められているのか理解し、力にならないければいけない。

試合終了後、ひとりで二之江駅前で昼食を食べていると、昔読んだ読売か日本経済新聞の外電の記事を思い出した。

ラグビーは紳士のスポーツである。英国の女子チームが、男子チームに挑戦し試合に勝った。男子チームは、負けたのは認めるが、クラブ名だけは明らかにしないで欲しいと、女子チームに頼んだ。淑女は、紳士の頼みを受け入れた。

国歌はゴッド・セーブ・ザ・キング (God Save the King)。英国は、ユナイテッドキングダムから、グレートブリテンになり、エリザベス女王が即位する頃の話です。

小石川中等教育学校は、平成23年度の新人大会で選手登録はあるが、出場資格のない女子部員一名で合同チームに参加して、合同チームを組んだ学校に大変な迷惑をお掛けした。ラグビーは紳士のスポーツで

も大切な事なのです。

東京都の教育改革で高校の進学校に指定された日比谷高校の校長が、まず第一にしたことは、教員の意識改革です。それだけで3年かかってやっと進学校らしくなったといっています。小石川中等教育学校も、東京都教育委員会も、まずは意識改革。後援会の役員も、学校が変わろうとしているときに、変わらなければ現実についていけない。自分の時の高校生気分ではラグビー部を守れない。

平成24年度の春季大会には出場資格のある部員がいないので、創部以来初めて出場申し込みができない。過去の歴史の中には、メンバーが12名しか揃わず、国体予選に棄権させられた年もあった。10人制しか出場できない時もあった。合同チームでしか参加できないときもあったが、出場申し込みもできない状況になったのは初めてだ。後援会役員も、目の先のきく人は泥船には乗らないから、我先にと逃げ出す。

5月のゴールデンウィークに春季大会を朝鮮高に見に行く。観客のひとりから「小石川の方ですね」と声をかけられる。何処でお会いしたか記憶にないが、当方をご存じの方らしい。「子供が小石川に在籍しておりますとお世話になっておりま

試合に出場した選手は、アタックにディフェンスに全力をでプレーしなければ相手に失礼な行動をした事になり、紳士にあるまじき行為で恥ずかしい事です。

一方、平成24年1月、第91回全国高校ラグビー大会で3連覇を達成した東福岡高が、全九州高校新人大会福岡県予選決勝で、筑紫高に20-25で敗れ、国内の高校相手の公式戦連続不敗記録が83で止まった。

東福岡の谷崎重幸監督は「これでチャレンジャー精神を取り戻せる」と話した。これだけでは東福岡高の敗因を説明するには不足らずなので少し調べてみた。福岡県はラグビーの盛んな県でラグビースクールも数多くある。ラグビースクールでラグビーを教わった生徒達は、野球少年が甲子園に憧れるように花園出場に夢を託す。花園に出場できる学校、優勝可能なチームに進学を希望するので、東福岡に集中するようだが、しかし、これに似た例は過去にも大阪代表の東海大仰星の監督が優勝した時のマスコミ報道にもあつて、東海大仰星の談話で、「優勝したので、部員が集まると思ったら集まらなかった」というのがあった。文字どおりに解釈すると、部員が集まらなかったことになるが、実際は新入部員の集まった数は同じ位で、優勝したら優秀な素質の選手が数

す。今の小石川のラグビーはどうなっているのでしょうか」と質問される。小石川の父兄らしい。

「ラグビーを教えられない人とラグビーをやったことあるだけの人が集まっても、ラグビー部を指導できません」と答えると、相手はビックリしたらしく、「厳しい事をおっしゃいますね。それで試合も見に来てもらえないのですね」と変なことをいう。そのまま別れたが。父兄も小石川中等教育学校ラグビー部の心配をしてきている。後援会の役員の方には殊のほか感じるだろう。後援会の目的は小石川の中等教育学校のラグビー部の中等部には12人制の単独チームに、高等部には15人制の単独チームに育てることです。後援会が総力を挙げて取り組まないといけないときに、自分がグラウンドではなく、スタンドにいるからと、明らかに味方がオフサイドの位置にいるのに、オールメン・オン・サイドと声を挙げるのは如何なものかと思ひます。



2012年東京都中学秋季大会、対慶応Bチーム戦

ラグビー日本代表ヘッドコーチ／エディー・ジョーンズ氏講演会

JAPAN WAY

2019年W杯、日本代表が6万人集まった国立競技場で、
フランス代表と試合をしている姿を思い浮かべてください。

その試合に勝てば準々決勝に進める。

日本のラグビーファンすべてが、それを夢見てほしいですし、
若い選手がその場に立っているということを想像してもらいたいです。

平成25年3月9日、小石川中等教育学校で行われたPTA主催「小石川セミナー」、エディー・ジョーンズ氏講演会より

OBコラム

OVER 60

OBチーム

この一年

小石川ラグビー部
OVER 60チームキャプテン

南高之
(昭和45年卒)



2012年春、対不惑クラブ戦

現在、小石川ラグビー部の現役ラグビー部員数は激減する一方です。それでも、数少ない現役部員は、懸命に活動を続けています。OBによるラグビー部後援会は、また再び、大勢の部員が楕円球を追いかけ、走る光景を描き、待ち望んで、長年にわたっての応援・支援を続けています。何とか復活を願うばかりです。そのような中、少しでもOBが元気でいることが大切という思いで、数年前からOBチーム、とりわけOVER 60チームが結成され、月に1・2回の練習と年に数回の試合を行っています。

一昨年も、ご報告させていただきましたが、この一年もますます活動が盛んになってきました。一年を振り返りながら、ご報告いたします。数十年前ぶりにラグビーを再開したというメンバーが多数のOVER 60チームも、最低月1回、練馬総合運動場（練馬駅北口徒歩10分、旧中央大学グラウンド）における練習を定例として、申込み抽選でたまに取れる小石川運動場（小石川サッカー場）での練習も含め、常時15名程度が集まって、58年卒のラグビー部OB清野健二君（早稲田大学ラグビー部OB）ほか、40歳代の後輩OBによる現役時代からは様変わり、現代ラグビープレーとルールのコーチングを受けながら楽しく練習を行っています。後輩諸君に感謝です。そのおかげか、メンバーの体力は徐々に回復・増強し、技術も向上し

てきました。何事も、継続は力なり、ということ、改めて実感しています。そのことに、皆、喜びを感じ、嬉々としてラグビーに動いています。その中で、時々、張り切りすぎて怪我をする者も出てきますし、また、残念ながら、内臓疾患も含め、ドクターストップがかかった方も出てきてはいます。

OVER 60チームメンバーは、一昨年5月から6試合を行いました。①一昨年5月13日、辰巳の森海浜公園ラグビー場にて、麻布クラブ（麻布高校OB中心のチーム）と対戦。40歳代後半、50歳代前半を含む相手チームとの体力の差が歴然で、大敗。この試合には、日頃試合のチャンスに恵まれない現役女子部員米島莉

央さんもスクラムハーフで出場しました。おじさんたちを尻目に、彼女の走りが目立った試合でした。

② 5月19、20日にわたって、恒例の公立高校OBによる、10校ラグビーフェスティバル春季大会が秋田で開かれ、小石川OB中心の関東選抜が秋田へ遠征。県立秋田高校OBチームと戦い、2トライ対1トライ1ゴール（10-12）で惜敗。とはいっても、強豪で知られる40歳代を含む秋田高校OBの皆さんが手を抜いてくれたのは明らかでした。

③ 10月28日、辰巳の森海浜公園ラグビー場にて、10校ラグビーフェスティバル秋季大会が開かれました。前年の試合で終了間際に逆転負けを喫した宿敵日比谷高校OBチームと対戦。雪辱を期して練習を重ねた成果が見事に実り、3トライ1ゴール（22-10）にて大勝。皆、溜飲の下がる思いで、試合後は勝利の美酒に酔いしれました。

④ 昨年3月20日、辰巳の森海浜公園ラグビー場にて、東京マスターズリーグ（日頃、5つのクラブチームにて運営しているリーグ）からOVER 60の試合の招待を受け、参戦。2トライ対2トライ2ゴール（10-24）で敗北。相手チームは、毎週のように練習、試合を繰り返しているとのこと。最後は、体力負けでした。次の試合の雪辱を皆で誓い合いました。

した。

⑤ 3月31日、Y&C&A（横浜アスレチック&カントリークラブ、日本のラグビー発祥の地）グラウンドにて、再び、麻布クラブと対戦しました。当日は、高校セブンズ（以前は、小石川現役も参加した公立校による7人制大会）のエキシビジョンマッチとして行われ、ケガ人の多い我がチームは多くの他校助っ人を頼み、前半20分、後半30分の長い試合を行いました。1ゴール2トライ対1ゴール（17-7）にて勝利。昨年春の借りを返すことができました。異例の長い試合でしたが、日頃の練習で培った体力がものを言ったようです。

⑥ 5月25日、辰巳の森海浜公園ラグビー場にて、2013年、10校ラグビーフェスティバル春季大会が開催されました。昨年秋季に雪辱を果たした日比谷チームとの再びの試合です。15分ハーフ前後半の試合が行われ、3トライ2ゴール対1ゴール（29-7）で大勝。最近一緒に練習を行うようになり仲良くなった日比谷チームのがっかりした姿が印象的でした。今後、若手中堅のOBチームの結成を期待しつつ、ますます盛んに活動を続けていきます。



ビジョンを持たせる ことがいちばん大切

皆さんこんにちは。今日はこの場に来られて光栄です。日本代表ヘッドコーチとして、なるべく多くの学校や講演会にいきたいと思っております。日本代表が良い結果を出すためには、いろいろなサポートが必要ですからね。私がプロのコーチを始めたのが、1996年です。

初めて務めたのが東海大学でした。その時は英語のレクチャー、ラグビーコーチとして雇われたのですが、両方とも良い結果を出すことはできませんでした。でも、その時以外、成功を収めることができましたよ（笑）。

私は（オーストラリアの）高校で体育、地理、数学の教師をやっていました。そして28歳のときに運よく副校長になり、32歳で校長になることができました。

私は教えるのが本当に好きです。なぜ、教師を辞めたのかというと、プロのラグビーコーチになろうと思ったからです。自分にとっては、コーチングも教えることも同じことだと思っています。

教師として、コーチとしてもやらなくてはいけないことの基本が4つあります。

まず一つ目。これがいちばん大事

なことですが、自分たちがどこへ向かいたいのか、というビジョンを持たせること。

多くの人は人生のなかで、何かスベシャルなことに関わりたいと思っています。そういったものに向かうビジョンを築き上げることが重要です。そして、それを選手や生徒に対してクリアに分からせてあげること、そのビジョンを何度も言ってあげることが大事です。

二つ目は、目的に達するには、交渉の余地が無いぐらいのものだと分からせることです。

例えば日本のラグビーで言うところ、スキルが無い場合、成功するのは非常に難しい。外国人より小さいからです。なので、交渉の余地がなくスキルは必要になります。

数学も一緒です。算数ができないと数学はできません。ラグビーでもまずは基本を学ぶ。そして戦術的に賢いことができるようになっていきます。

三つ目は、選手や生徒をマネジメントしていくことです。まずは一人一人が何をしたいのかということを理解する。

そして、何をすれば彼らのモチベーションが上がるのか、どのように彼らが学んでいくかという術を知ることです。

四つ目は、立ち止まらずにやり続

けること。

日本のラグビーの歴史を振り返ると、さほど成功しているとは言えません。W杯では20年間勝つておらず、U-20日本代表は世界でもセカンドディビジョンです。7人制ラグビーも世界トップレベルではありません。あまりいい状況ではないですね。

12年、U-20日本代表はウェールズ代表と試合をしたのですが、100点差で負けてしまいました。その一年前、ウェールズ代表はオールブラックスと試合をして、100点差で負けています。なので、我々のレベルがどれだけのものかということが分かると思います。

なぜ日本は弱いのか？と聞いてみた

私はある時、日本ラグビーに関わる人々たちを呼んで「なぜ日本はこんなに弱いのか？」と聞いてみました。そうしたら、彼らは3つの理由を語ってくれました。二つ目は、日本人は小さいから。三つ目は、日本にはプロフェッショナルな選手があまりいないから。三つ目は、日本人は農耕民族だから。ということでした。三つ目はあまり意味が分からなかったのですが（笑）。すべての理由が、これができない、あれができないからという理由だったのです。これからは「Can Do」（やれる）という環境を築かないとい

けません。

私が仮に小さかったとします。だとしたら、速く、強く、賢くなつて相手との差を埋めていく必要があると思います。

私は日本のラグビーは、プロフェッショナルな環境にあると思っています。高校でラグビーをしている生徒は、勉強よりもラグビーをたくさんやっていると思います。大学でも勉強よりもラグビーにほとんどの時間を費やしている。

そして、トヨタサントリー、パナソニックなど世界有数の会社に入る。午前中に仕事をして、その後はラグビーをしています。それから32歳ぐらいでラグビーをやめても、会社で65歳までちゃんとしたポジションで働ける。なので、日本でラグビーをやる環境は凄くアドバンテージがあると思います。

世界を見ると、32歳ぐらいでラグビーをやめた選手は、必死になって新しい仕事を探しています。

それと、日本人は農耕民族ということですが、70年前の日本人人口の50%が、お米を作っていたという話がある時間聞いたことがあります。

例えば、お米を作っているのであれば、村の長の言われたことに皆従ってやっていくんですよ。

なので、自分の独立した考えよりも、誰かの教えに従うことが得意なの

だと思っています。それは逆に、非常にいいアドバンテージだと思います。自分で何かをしようとして、集団で知恵をつける。その風潮を理解して一人一人の強みを見つけて伸ばしてあげれば、上手くいくと思います。

私たちが今、ラグビーで何をしたいのかと言うと、速く、強く、俊敏性を持つということ。そして、時間を最大限に有効利用して強いチームを作ろうと励んでいます。

ここ最近、3人の日本人選手がスーパー15（ラグビーの国際リーグ戦）に進みました。田中、堀江、マイケル・リチです。

彼らは大学時代にスーパースターではありませんでした。自分自身が努力し、どうやってラグビーをすればいいのかを学び、自らの力でスーパー15に進んだのです。

本心に彼らは日本代表としてプレーすることに誇りを持っています。そういう心を持ちながら世界のベストな場所と戦いたい、通用したいと思っている選手たちです。

日本代表はこれからもっと強くならなくてはいいけません。特にスクラムとラインアウトを強化しなければいいけません。

12年12月、日本代表は欧州で2勝しました。日本が欧州で勝つことは今までなかったんです。

その中でも、スクラムのクリーンボー

ルを取れた確立は17%でした。しかし、世界トップ10に入るためには、その確立を90%にまで引き上げなくてはなりません。そのためには日本人らしいスクラムを組む必要があります。オールブラックスを真似てはいけません。私が高校生だった頃、日本の高校生代表とプレーしたことがあります。その時の日本のスクラムはとても低かったんです。なかなか動かすことができず、ラインアウトのボールも奪えませんでした。日本ラグビーの真髄が当時ありました。

しかし、過去15年間の日本のラグビーを振り返ると、強豪国のプレーを真似ているだけです。

「スモールラグビー」に秀でる必要がある

今後、日本のラグビーをどうしていきたいかと言うと、身体的な強さ、競争力をつけていきたい。2つ伸ばしていける所があります。一つはアタックです。世界一のアタッキングチームに日本はなれます。

去年のテストマッチは、1試合平均で220回パスをしていました。オールブラックスは180回、ワラビーズは150回、南アフリカは75回です。南アフリカは大きい選手が揃っているの、パスを多用する必要があると思います。

日本人は小さいがゆえに、パスが

上手くないといけない。タイミングと精度などプレーの質をもっと上げなくてはいいけません。日本人は「スモールラグビー」に秀でる必要があります。

私はいま、いろいろな分野で日本代表を率いた監督にお会いしています。WBCで野球日本代表を率いた巨人の原監督と会ったときに、どうやって優勝することができたのですか？と聞きました。アメリカのようなパワーベースボールに勝つためには、日本は「スモールベースボール」に秀でる必要があったそうです。パントや盗塁、守備などを徹底することで日本は優勝することができました。

あと、なでしこジャパンはどうやってW杯で優勝することができたと思いますか？なでしこジャパンの相手は大きい選手ばかりです。佐々木監督がおっしゃっていたのは、チームが連携して動く、他の選手より素早く動くなどの「スモールサッカー」に秀でなくてはいいけないということでした。自分たちをしつかりポジションニングして、スキルを素早く活かして、相手にいいプレーをさせない。これはラグビー日本代表が目指すところと全く同じです。

例えば、体重110kgの人と、100kgの人が狭いスペースでぶつかった場合110kgの人が勝ちますよね？だけど、100kgの人が一足素早く動いたり、ボディエンゲルを変えたりしたら、

110kgの人にも勝つことができるのです。私たちはそれを実践するために、トレーニングで高阪さん（格闘家）を招きました。

昔の日本人というのは、狭いスペースでも素早く動けたんです。だけど今は皆さんそれを忘れていきます。私たちはそれをもう一度取り戻したい。その動きをラグビーのアタッキングにつなげれば、「スモールラグビー」ができるようになってきます。

日本人選手を見てきて、あと二つ感じたことがあります。日本人は他の国の選手よりも速く学びます。速く忘れちゃうこともありますが（笑）。日本人は内側にファイティング・スピリットを持っています。正しい環境を与えることで、ファイティング・スピリットは表に出てくるのです。

私がイングランドでコーチをしていた頃、当時のサントリーのヘッドがイングランドに来ました。サントリーは60点差で東芝に負けた直後で、ファイティング・スピリットを失っていました。私がサントリーに入団する前は9年間で1度しかチャンピオンになっていませんでしたが、今のところ51試合中46勝しています。5回連続でトロフィーを獲得しているのが、今のサントリーです。

日本「アタッキング」に秀でたチームに

なぜそのように変わることができたのか？



講演会終了後、エディー・ジョーンズ氏と小石川OBの記念撮影

私たちは、日本でいちばんアタッキングに秀でたチームになろう、日本でいちばん練習するチームになろうというビジョンを決めました。当時、選手たちは朝6時から練習をして

その後、朝ご飯を食べて会社に向かい、仕事が終わったあとも練習をしました。その結果、日本「アタッキング」ファイティング・スピリッツに秀でたチームになることができたんです。

将来、日本代表でプレーするためにラグビーをするという子どもたちは、ほとんどいません。

日本のラグビーファンも、大学のファンや企業チームファンばかりです。日本代表戦の観客は5000人ぐらいですが、早慶戦だと2万人以上ファンが集まります。

日本人が持っている能力、それを引き出すためにはもっと大きなサポートが必要です。2011年のW杯で優勝したニュージーランドは、過去7年間のテストマッチで85%勝っています。そんな世界一のチームでありながら、W杯では勝てていなかったんです。勝つためにはレフリーの助けが必要でした。自国開催でラッキーでしたね（笑）。

ニュージーランドでは、皆がオールブラックスをサポートしています。子どもたちはオールブラックスに憧れ、高校生はオールブラックスに入るためのスキルを身につけようとしています。どんなクラブチームであろうがオールブラックスのための情報は皆が共有している。

一方、日本では早稲田や慶応でラグビーがしたいなあーと考え、その後大企業に進むというのが現状です。

日本の選手がいちばん可能性が高い

だから、日本ラグビーを変えなくてはいいけません。やはり高校生のうちから、フィットネスを始めなくてはいいけません。

日本で唯一、着実なプランを持っている大学があります。帝京大学です。他の大学は帝京よりも勝たいたいと思っていないでしょうね。帝京に入りたいと思う人が増えているのが興味深いです。

他の国とは違うラグビーをするというビジョンを共有しなければいけない

日本のラグビーは問題が山積みです。他の国とは違うラグビーをするというビジョンを共有しなくてはいいけません。一人一人にフアイティング・スピリットが必要です。規律ある風土を作らなくてはいいけません。私たちがサントリーでやったことですが、クラブハウスでは携帯電話禁止にしました。皆、ご飯を食べながらほとんどしゃべらずに携帯をいじっているんです。今もレストランに2人で入ってもしゃべらずに携帯をいじっている、そんな光景がありますよね。

サントリーで携帯電話を禁止にしてからは、食事中に選手たちがコミュニケーションを取るようになりお互いのことをもっと知ろうという姿勢になったんです。

私は、オーストラリア、南アフリカ、イングランド、日本でコーチをしてきました。いろいろな国を見てきましたが、日本の選手が一番可能性が高いと思います。

その能力を引き出すためには、ビジョンを与えること、勝つために絶対やらなくてはならないことを理解すること、そしてチームの雰囲気を作ってあげないといけません。それができれば、どんなこともできます。

私たちは2015年までに素晴らしいチームを構築します。私が日本を離れるときには、日本代表が世界から尊敬されるようになりたい

です。

ただ、日本代表のプレーをするにはとても勇気がいります。私たちは相手にボールを渡さず、ずっとキープしてプレーをしたいんです。必要とときだけキックを用います。

オースドックスなものではないので、最初は負けてしまうかもしれません。「なぜそんなプレーをするの?」「なぜキックをもっと使わないの?」と批判を受けるかもしれません。

しかし、世界有数のいいチームは、自分たちのラグビーを信じています。オールブラックスも自分たちのラグビーに信念を持っています。信じたスタイルのレベルが上がれば、必ず結果が出てきます。

これからはもっと、高校や大学、企業チームからサポート受けて、多くの方に日本代表の試合を応援していただきたい。日本代表のプレーを見て、精一杯100%やっているなと思ってもらえるような試合をしていきたいです。

この間講演をしたときに、「これから何人の外国人を使っているんですか?」という質問を受けました。私が思ったのは、日本には外国人という括りはないです。日本代表として戦える人という括りでラグビーをしているのです。

もしオールブラックスが、サモア、トンガ、フィジー人を使わなかったら、

世界トップ10には入れません。

日本代表では、これからも日本のブレースタイルができる外国人を使っています。外国人であろうと日本のやり方、文化にフィットしなくてはいいけません。

【質疑応答】

女性A 今日ほどのような理由で講師として来られたのですか?

エディー・ジョーンズ(以下エディー) できる限り多くの方と時間を共有して、お話がしたいと思いました。自分のことを多くの方に理解してもらいたい。サポートも欲しいと思っているのでこの場に参りました。

女性B なぜラグビーが好きなのでしょう?

エディー ラグビーは世界で最も複雑なスポーツだと思います。コーチの仕事は、複雑なことをシンプルにさせてあげることです。それがいい試合運びになったときは、本当に美しいスポーツなんです。悪い試合運びだと最悪なスポーツなんですけどね。自分の夢は、バーフェクトな試合運びができるチームを作ることです。それができたらリタイアします。

男性A 日本でいう良い選手というのは、監督の言うことを何でも聞くというイメージですが、監督から見るといいことでしょうか? また、自己主張の強い選手は監督にとって

どうでしょうか?

エディー チームの一員である心を持った選手が必要です。でもいろいろな性格の選手がいてもいいと思います。質問がしたいなと思ったら、質問ができる準備がある選手が必要です。

なので賢い選手は重要だけれども、賢いと思いつている選手は機能できていません。そういう選手の考え方を変えようとするけれど、なかなか変わらず「違うチームに行ってください」という時もあります。

この間、欧州遠征に行ったとき、パナソニックの田邊を連れていきました。彼は34歳です。代表として通用しなくても、ノンブレイメンバーとして連れていくことが必要でした。本当にいい人柄で、ハードなトレーニングをして、皆をサポートしてくれます。私たちはフランスを考えながらチームをセレクトションしていきます。今は、パナソニックの山田をピックアップしています。彼はイヤリングを付けたり、変な髪形をしています(笑)。だけど、何かを持っている人なんです。変な人ですが、性格はとてもいいですよ(笑)。

男性B 2015年W杯で日本代表が何試合勝てるか? W杯で成功するために何が必要ですか?

エディー 2011年の時の監督は、2勝すると言っていました。ということは、2敗するということですよ。

男性D 負けたときはチームの雰囲気が悪くなると思うのですが、どうやって雰囲気を変えればいいのでしょうか?

エディー 叫ぶ(笑)。そういう時が必要なのもあります。チームに対して、次にこれをやろうということ

を伝える。ラグビーでは、1試合に80個くらいこうすれば良かったというプレーがあります。でも、80個中、自分が改善できることは三つくらいしかありません。

ただ、三つのメインプレーを改善できれば、他の箇所の改善にもつながるということを理解することが大事です。80%はいつも通り練習して、20%は相手に合わせて対応します。チームに対して、やらなくてはいいないことをクリアに伝えること。それが上手くできれば次の試合に勝つことができる。勝ったら、もっとハードに練習していきましょう。

男性E あまり攻めるとDFに穴が開いてやられてしまうと思いますが、サントリーはDFも良くてそういうことがありません。どうしてでしょうか?

エディー 自信です。サントリーの監督を始めた頃は、DFのトレーニング

グループリーグが4試合なので。オールブラックスとやるときは2軍で戦いました。その結果、90点差ぐらいで負けました。そうすると、日本のラグビーに誰も敬意を示しません。それも私たちが変えなくてはいいけない。

試合はすべて勝ちたいです。いつもベストチームで挑みます。W杯で何試合勝てるか分かりません。でも、本当にいいプレーをしたら勝てますよね。

2003年、私はオーストラリア代表のコーチとして自国開催のW杯に挑みました。W杯で成功するためには、ホスト国のチームが強くなければいいけません。2019年W杯(日本開催)は、日本代表が最低でも準決勝に進まなくてはいいけません。

それまで7年間かけてチームをつくって、大学やトップリーグの試合にレギュラーで来てもらえる人(観衆)がいなければいいけません。

2003年W杯、タスマニアでグルジアとナミビアの試合がありました。誰もラグビーをしないような場所だったので、帽子を配って中に紙を入れました。1番を引いた人はグルジア、2番を引いた人は、ナミビアの民族衣装をしてもらい、3万人の観衆を集めました。日本でもそういうことをしていかなければいいけません。日本代表をサポートしてくれる方を

は20%程度で、アタックの練習ばかりしていました。多くの選手たちに自信を持たせよう、一つでも秀でたものがあればいいと思っていました。そういう考えの中で、少しずつ練習内容を変えていきました。

例えば、ターンオーバーのボールを増やせば、DFの練習が増えます。でも、選手はアタックの練習をしていると思っています。そういう中で、DFが上達していきました。チームの強みを理解することが重要です。強みを重宝しながら、他の部分を上げていくのがコーチングスキルです。今のサントリーは、アタッキングが少し弱くなっていますが、勝っているからいいチームですよ(笑)。

男性F 日本で今後、伸びていく注目の選手はいますか?

エディー 例えば、クボタの立川理道。彼はキャッチやパスも上手く、ランやキックもできます。スーパー15でやれる能力を十分持っています。早稲田の藤田は、かなりいいところまでいけると思いますが、未知の部分がまだあります。あとは帝京の坂手。彼は凄いです。何か持っている選手です。先ほども言いましたが、日本にはいい選手がたくさんいるんです。

男性G 高校(千葉県)でラグビーを

増やす必要があります。女性の方にも試合を見に来てほしいですね。

男性C 強いチームを作るには2つの考え方があっていいです。優秀な選手をピックアップしてまとめる。ラグビーの底辺を広げて、たくさん

の人の中から優秀な選手が自然に出てくる。その考えについては、どう

お考えでしょうか? あと、子どもたちがラグビーをスタートさせるために、どのような姿勢で臨めばいいでしょうか?

エディー チームにはグループが存在します。いつもいいプレーができる人が10%。どんなに教えても伸びない人が10%。チャンピオンチームを作るには、それ以外のグループ(80%)にどのように影響を与えて、どう上げていくかが大事です。

ラグビーというのは、すべて一貫性に尽きます。いつも最高のプレーをするという意味ではありません。例えば、この2年間、日本でいいプレーをしているのはジョージ・スミスです。常に最高のプレーではありませんが、どんな試合でもハードに動いて、10点満点中7点ぐらいのプレーをずっとしています。2点というプレーはありません。

チームの80%の人たちに、もっとハー

なぜここは練習がしたくてたまらないという気持ちが溢れていました

東京都立小石川中等教育学校ラグビー部 現役選手名鑑

▶創部 1947年 ▶所在地 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-29

■データーの見方:①学年クラス②出身校③身長/体重④スポーツ歴⑤ラグビーのここが好き⑥趣味・特技⑦今年はどうしたい・ラグビー編⑧今年はどうしたい・プライベート編



米島莉央 ヨネシマ・リオ
CTB・WTB・FB/7人制のFW

①6年C組②埼玉県越谷市立千間台小学校③158.5cm、53kg④サッカー、ラグビー
⑤タックル、気合が必要なところ⑥読書、物書き⑦手先が器用になって、ノコンシなくなる⑧勉強に全力を尽くす(3月に小石川を卒業、4月からは早稲田大学教育学部へ)



川見響輝 カワミ・ヒビキ
SH

①3年A組②大田区立赤松小学校③163cm、50.5kg④空手、サッカー、ラグビー
⑤タックル、ボールを持って走れるところ⑥芝の上、雨の中でのセービング⑦すごくきれいなSHパス、study hard(4月からは中等4年生に/高校1年生)

会費・寄付金 納入のお願い

平成25年度(平成25年4月1日から平成26年3月31日)の会費・寄付金の納入をお願いいたします。(会報の発行が遅れたため会報がお手元に届いた頃は、4月になっているかとは存じますが、4月入金までを平成25年度分とさせていただきます。)

〔年会費および寄付金の振込方法〕

1. 年会費は社会人は5千円、学生は3千円です。
2. 会費・寄付の納入方法は以下のとおりです。

① ゆうちょ銀行をご利用の場合
会報同封の振込用紙(赤色)をご利用下さい。手数料は不要です。

※振込用紙を紛失した方は、最寄りの郵便局にて振込用紙(赤色)を取得し、必要事項を連絡欄に記入の上、ご送金下さい。

※必要事項 何年度の会費・寄付かを記入、現住所・連絡先・メールアドレス、卒業年・氏名を記入。

口座番号: 0010000591395
加入者名: 東京都立小石川高等学校ラグビー部後援会

② 銀行をご利用の場合
みずほ銀行 駒込支店 普通預金
口座番号: 0451272
名義人: 小石川高等学校ラグビー部

エディー ラグビーファンはたくさんいると思いますが、このチームが好きという人は少ないと思います。ゲームに関するマーケティングが少ないので、それが関係しているのかもしれない。もちろん日本代表が勝たなくてはならない。PRが上手くできれば必然的にファンは増えていくと思います。

日本ラグビー協会に働きかければいいのですが、もつとエキサイティングな試合ができる雰囲気を作らないといけない。例えば、80分間の試合のうち、ボールインプレーの時間は33分間です。80回も試合が止まっているんです。

日本の審判って体育の先生が多いですよ。なので、話好きが多いです(笑)。審判がもつとボールインプレーの時間を増やして、早い試合運びをさせないといけません。ラグビーをあまり知らない人が試合を見ると、いつも止まっているというイメージです。止まっている時間を減らせば、試合はもっと楽しくなります。

エディー 本日は本当にありがとうございます。日本代表は2015年までに世界トップ10に入るという目標を持っています。2019年にはトップ8入りを目指します。そのためには、小さなことでも着実にやらなくてはなりません。

2019年W杯で、日本代表が6万人集まった国立競技場で、ファン



Profile

1960年1月30日生まれ、オーストラリア・タスマニア州出身。母は米国生まれの日系2世、妻も日本人。オーストラリアで教師生活を送りながらラグビー選手として活躍し、オールブラックスとも対戦。1992年、32歳でコーチの道に入り、1996年には日本代表のアシスタントコーチを務める。監督として2001年にスーパー12のブランビーズを優勝に、2003年ワールドカップではオーストラリア代表ワラビーズを率い準優勝。2007年は南アフリカ代表のテクニカルアドバイザーを務め優勝に導いた。2010-11年度にサントリー監督として日本選手権2連覇を達成。2012年4月、日本代表のヘッドコーチに就任。

(同時通訳・中澤ジュリア)

ス代表と試合をしている姿を思い浮かべてください。その試合に勝てば準々決勝に進める。日本のラグビーファンすべてが、それを夢見てほしいですし、若い選手がその場に立っているということを想像してもらいたいです。

ハイランダーズでプレーする田中史朗のように、日本人選手が世界に通用することは証明されています。ああいう選手がこれから何人も出てくれば、先ほどの夢が実現化すると思います。素晴らしいことだと思いませんか？

(エディー・ジョーンズ氏講演会の実現にご尽力いただいた小石川中等教育学校PTA役員の方々にお礼を申し上げます)

お知らせ ①現在、後援会の連絡手段として使用していますメーリングリスト機能を中心とした「Yahoo!グループ」のサービスが、5月28日で終了します。それにともない、「Googleグループ」のメーリングリストへ移行の準備をしています。②「後援会」のホームページの掲示板は、現在、暗証番号の入力なしで誰でも書き込み、閲覧できるようになっています。ぜひ、ご利用ください。③新たに「小石川ラグビー部後援会」の「Facebook」(https://www.facebook.com/koishikawa.rugby.football.club)を立ち上げました。現役情報を中心にアップしていく予定です。こちらにも立ち寄りください。



平成25年4月21日、対成蹊戦の川見君



平成23年8月20日、小石川大泉ラグビー定期戦（辰巳の森海浜公園）



平成24年6月16日、後援会総会・懇親会



平成24年5月26日、米島さんのタックル練習



平成24年10月14日、対慶応B戦



平成25年4月28日、対東京朝鮮戦



平成25年7月6日、現役・OB交流戦



平成25年4月28日、対東京朝鮮戦